



校長の目 ～西小日々通信～

令和5年4月17日（月）



入学したての1年生のお世話は6年生の大切な役目です。今朝は朝読書の日でしたが、1年生はまだ文字を学習していないため、本を読むことができません。そのため、6年生が絵本の読み聞かせを行っていました。とはいえ、6年生も初めての経験ですから、あまり上手とはいえません。それでも1年生のためにいっしょうけんめい本を読んでいた。6年生の気持ちは、きちんと1年生に伝わるようで、おしゃべりなどしないでしっかり聴くことができました。6年生にとっても、最上級生としての自覚を培う上で良い経験となります。



写真は、4年生の社会科の授業です。3年生では主に市のことを学習しますが、4年生は県について学習します。今日は、その導入として、地図を見ながら埼玉県的主要産業の特徴を探していました。埼玉県は、鯉のぼりや雛人形などの伝統工業が盛んな県です。地図にはそれらが絵で表記されているので、市町村名とリンクさせていきます。その際に必要なのが、八方位です。東西南北のほかに、北東、南東、北西、南西を新たに覚えます。例えば、ふじみ野市からみると、岩槻市はどの方角にあるかを八方位でとらえるのですが、子供にとってはこれが意外と難しいですね。



ちなみに、小学校での地理的な学習は、自分の住む地域から次第に広がっていきます。1・2年生の生活科で自分の学区、3年生で市、4年生で県、5年生で日本全国となっていきます。6年生で世界の国々について学習しますが、地理的な学習というより、日本との関係性を中心に学びます。

2年生の教室では、国語で「ふきのとう」を学習していました。工藤直子さん作の「ふきのとう」は、長い冬が終わり、待ちわびていた春を迎える喜びを、ふきのとう、竹の葉っぱ、雪、お日様、春風たちの会話をとおしてユーモラスに描いた作品です。音読教材としては、リズム感があり、楽しく読むことができます。

音読をする前に、担任が、「ぐー、ぺた、ぴん」と声を掛けます。昨年度もこの通信でお伝えしましたが、「ぐー、ぺた、ぴん」は、よい姿勢を確認するための声掛けです。「ぐー」は、自分のおなかと机の間にぐー

（にぎりこぶし）一つ分空けること。「ぺた」は、両足の裏をしっかりと床につけること。「ぴん」は、背筋を伸ばすこと。担任が、「ぐー、ぺた、ぴん」と声をかけると、子供たちはさっと姿勢を正します。

